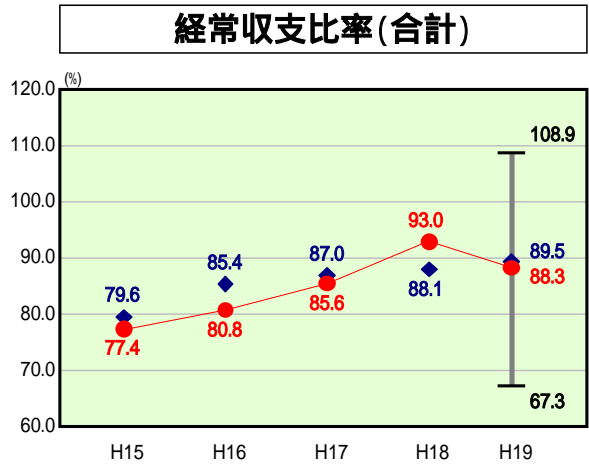


# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岩手県 紫波町

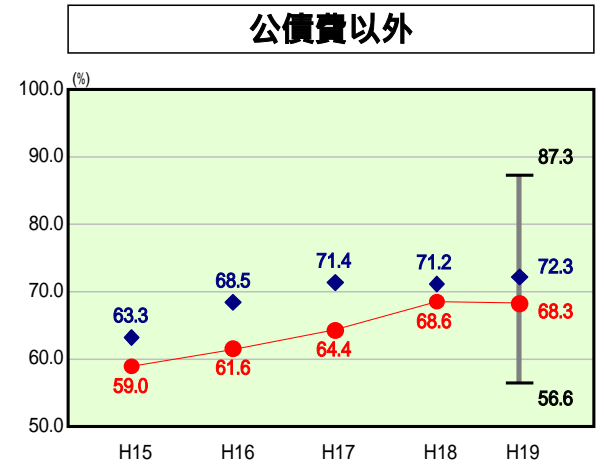
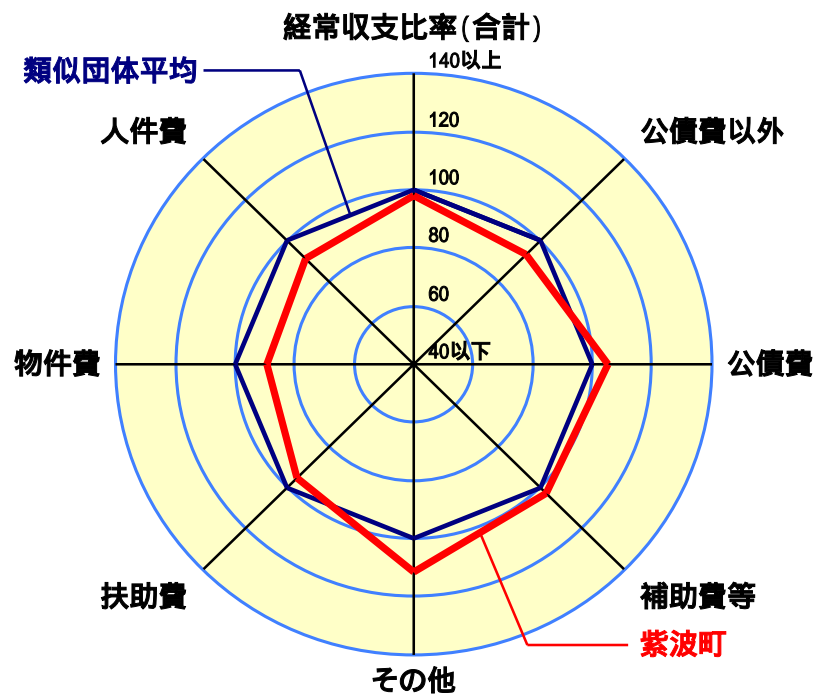
## 経常収支比率の分析



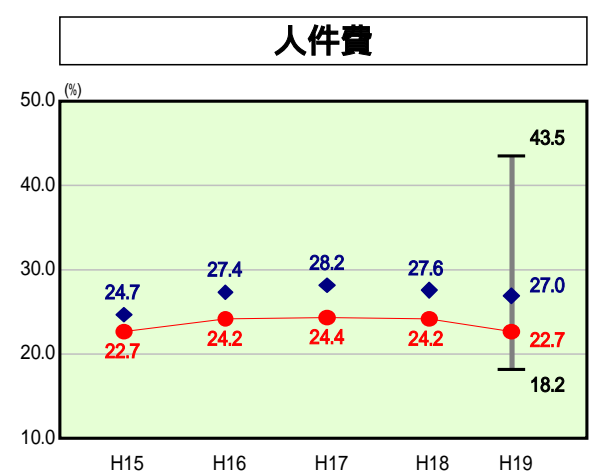
当該団体値 ●  
類似団体内平均値 ◆  
類似団体内最大値 ⊥  
類似団体内最小値 ⊥

人口 34,357人(H20.3.31現在)  
面積 239.03 km<sup>2</sup>  
歳入総額 13,303,105千円  
歳出総額 12,981,868千円  
実質収支 244,963千円

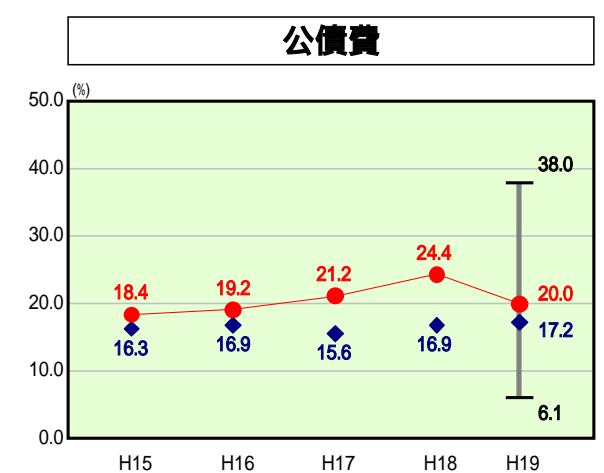
H19類似団体内順位 45/153  
全国市町村平均 92.0  
岩手県市町村平均 90.9



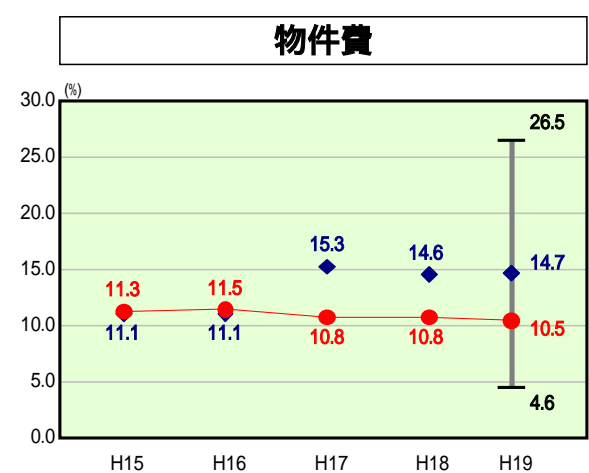
H19類似団体内順位 33/153  
全国市町村平均 71.7  
岩手県市町村平均 66.9



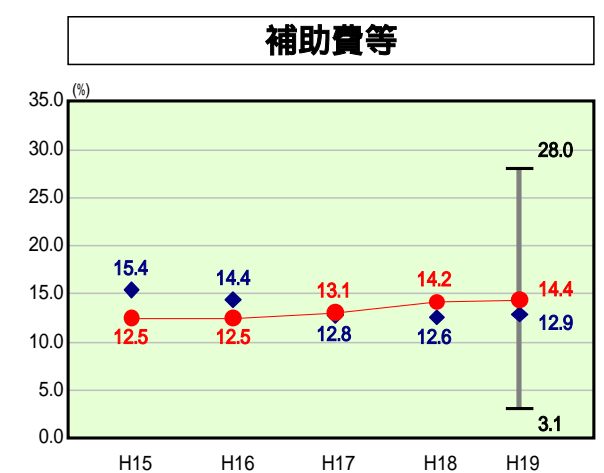
H19類似団体内順位 32/153  
全国市町村平均 28.0  
岩手県市町村平均 26.6



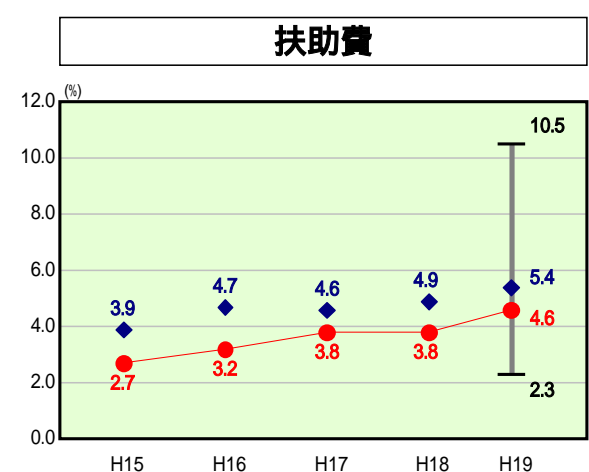
H19類似団体内順位 103/153  
全国市町村平均 20.3  
岩手県市町村平均 24.0



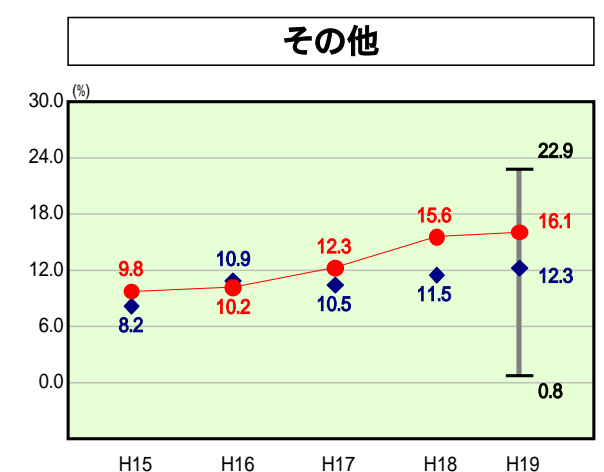
H19類似団体内順位 27/153  
全国市町村平均 13.1  
岩手県市町村平均 11.5



H19類似団体内順位 88/153  
全国市町村平均 10.4  
岩手県市町村平均 11.9



H19類似団体内順位 54/153  
全国市町村平均 8.8  
岩手県市町村平均 6.5



H19類似団体内順位 139/153  
全国市町村平均 11.4  
岩手県市町村平均 10.4

- 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

[人件費] 類似団体平均を下回る数値で推移している。「持続的に自立できる紫波町行政計画」における第1次目標を2年前倒しで達成しており、第2次目標を設定し今後も継続していく。

[物件費] 類似団体平均を下回る数値である。物件費全体での抑制効果である。

[扶助費] 類似団体平均を下回る数値で推移しているが、福祉制度の改正に伴い年々増加傾向にある。

[公債費] 大規模プロジェクトや汚水処理施設整備の累積、臨時財政対策債の借入により地方債の元利償還金が膨らんだ。公債費のピークは平成18年度であり、以降減少していく見込みである。今後、公営企業債の元利償還金に対する繰入金が増加することから、新規起債事業の絞り込みや継続建設費の平準化、整備計画年次の見直しを行っていく。

[補助費等] 類似団体平均を上回る数値となっており、ごみ処理を行う一部事務組合の負担金が増えていることに加え、後期高齢者医療広域連合や農地・水・環境保全向上対策事業の開始による負担金の増加が主な原因である。

[その他] 類似団体平均を上回る数値となっており、下水道施設の維持管理経費や国民健康保険・介護保険事業を行う特別会計への繰出が増加しているのが主な原因である。下水道会計は、平成19年度に料金改定を行ったが、逐次料金の再検討を行うとともに、経費の削減に努めていく。

[普通建設事業費] 類似団体平均を上回る数値となっているが、数値的にはほぼ横ばいで推移しており、類似団体平均値が減少してきたことから上回るようになった。生活基盤の整備は今後とも必要であり、この数値を維持するよう事業の選択、平準化を図っていく。